

## 令和7年度 災害時学校支援チームみやぎ（MIRAI）スキルアップ研修会

県教育委員会では、大規模災害発生時に被災地で想定される学校教育の混乱解消に向けて、被災自治体の要請に基づき現地で、教育復興を支援する「災害時学校支援チームみやぎ（MIRAI）」を設置しています。

このたび、MIRAIの構成員を対象とした研修会を下記のとおり実施しますので、お知らせします。

### 記

- 1 日 時 令和7年8月5日（火曜日） 午前9時30分から午後4時まで
- 2 会 場 宮城県自治会館 205・206会議室  
（仙台市青葉区上杉1丁目2-3）
- 3 受講者 MIRAI登録者のうちの受講希望者（38名）
- 4 内 容
  - （1）講義・演習「児童生徒への支援～心のケアを通して」  
講師：宮城県精神保健福祉協会 心のケアセンター長 福地 成 氏
  - （2）演習・兵庫県の支援チームとの情報交換
    - ①兵庫県による被災地の学校支援
    - ②東日本大震災時の学校の状況
    - ③防災教育・安全管理の取組み

※ 研修会の詳細は別紙開催要項を御覧ください。

- 5 取材について
  - （1）取材を行う際に表記のメールアドレスあて、7月31日（木曜日）午後4時まで可能な限り申込をお願いします。
    - ①会社名 ②取材（撮影）方法 ③取材人数 ④来場予定時刻を記載願います。
  - （2）取材の際の注意点
    - イ 報道機関の受付については、会議室内の当課職員に声掛けをいただきますようお願いいたします。
    - ロ 取材当日は、社名等が明確となるよう、必ず腕章等を着用願います。
    - ハ 会場内での取材エリアは、受付時に説明いたします。

（裏面に続く）

## 【参考】

### 1 M I R A Iについて

県教育委員では、大規模な災害の発生に伴う、被災地において予想される学校教育の混乱の解消に向けて、被災自治体の要請に基づき、教育復興を支援する「災害時学校支援チームみやぎ（M I R A I）」を設置しており、支援に向けた高い意識と専門的知識や実践的対応能力を身に付けられることを目的として、令和元年から養成研修を行い、令和7年4月の現在でチーム員数は181名になります。

令和6年1月の能登半島地震では、18名のチーム員を能登町内学校に派遣し、児童生徒の心のケアや学校再開の支援をしました。

#### ※M I R A Iに関する研修名と受講対象

- ・スキルアップ研修 : 登録者のうち受講希望者
- ・養成研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ : 初年度チーム員登録者
- ・フォローアップ研修 : 2年目のチーム員

### 2 全国の学校支援チームの設置状況

全国で災害時の学校支援チームを有するのは7道府県のみであり、本県及び兵庫県  
の先進的な取組を県内外に向けて広く発信したいので、報道機関の皆様におかれ  
ましては、ぜひ取材して下さるようお願いいたします。

※令和7年4月の時点で、チームを設置済み道府県（北海道、宮城、三重、兵庫、  
京都、岡山、熊本）

### 3 兵庫県震災・学校支援チーム（E A R T H）の宮城県訪問の概要

#### （1）目的

阪神・淡路大震災から30年を迎え、教員として震災の経験や被災地派遣の経験がないE A R T H員が増えているため、これまで支援を行ってきた宮城県を訪問し、現地での研修及び両県の学校支援チームとの情報共有・連携を図ることでE A R T H員の資質向上を図る。

また、研修後には全E A R T H員を対象に報告会を実施し、今後の被災地支援活動に生かすとともに、兵庫の防災教育の一助とする。

#### （2）参加者

参加を希望する震災・学校支援チーム（E A R T H）員20名

#### （3）宮城県の訪問の期間

令和7年8月4日（月曜日）から8月7日（木曜日）

そのうち、8月5日（火曜日）の午後にM I R A Iと合同で研修を実施する。

なお、宮城県と兵庫県の合同の研修は、令和元年8月以降、5年ぶりの開催である。